

北見工業大学学報

第 286 号 (2018 年 3 月号)

目 次

栄 誉 賞 授 与	鈴木夕湖選手 (LS 北見) に国立大学法人北見工業大学栄誉賞を授与……………	3
学 位 記 授 与 式	平成 29 年度学位記授与式を举行……………	4
告 辞	平成 29 年度学位記授与式告辞……………	6
入 試	平成 30 年度大学院入学試験 (第 2 回) を実施……………	8
	平成 30 年度工学部一般入試を実施……………	9
研 究 助 成	平成 29 年共同研究の受入状況……………	10
	平成 29 年度受託研究の受入状況……………	11
	平成 29 年度奨学寄附金の受入状況……………	11
人 事	人事異動……………	12
受 賞	本学学生が平成 29 年度土木学会北海道支部 技術研究発表会優秀学生講演賞を受賞……………	16
諸 報	視覚障がいのある学生支援に係る講演会を開催……………	17
	個人情報保護研修を実施……………	18
	パソコンノートタイカー育成講座を開催……………	19
	平成 29 年度就職イベントを開催……………	20
	オホーツク型先進農業工農連携 研究ユニット「地域交流会」を開催……………	22
	学生表彰式を举行……………	23
	北見工業大学と金融機関との連携強化に向けたシンポジウム 「オホーツク地域における金融機関と 大学機関との連携の可能性」を開催……………	24
	オホーツク医学大会・北見医工連賞授賞式……………	25
	成績優秀学生表彰式を举行……………	26

	図書館展示コーナーリニューアル・・・・・・・・・・・・・・・・	27
	平成 29 年度永年勤務者表彰式(退職時表彰)を挙行・・・・・・・・	28
	ドイツ・アシャッフエンブルク応用科学大学と国際交流協定を締結・・・・・・・・	29
目 次	2 月・3 月・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	30

= 栄 誉 賞 授 与 =

鈴木夕湖選手（LS 北見）に国立大学法人北見工業大学栄誉賞を授与

（総 務 課）

3月19日（月）、本学卒業生であり、2月に開催された平昌オリンピック女子カーリング団体戦で日本代表として出場し、銅メダル獲得という快挙を成し遂げられたロコ・ソラーレ（LS 北見）の鈴木夕湖選手に国立大学法人北見工業大学栄誉賞を授与しました。

本栄誉賞は、特に顕著な功績により社会に明るい希望と活力を与え、本学の名声を高めた者に対し、その栄誉を讃えることを目的としており、鈴木選手が初の受賞者となります。

教職員、学生から大きな歓声で迎えられた鈴木選手は、銅メダルを胸に「今回、銅

メダルを持って帰って来られて皆さんに報告できることをうれしく思います。まだまだ強くなっていきたいと思いますので今後も応援よろしくお願いします。」と挨拶されました。

学長室で行われた表彰式では、高橋信夫学長から表彰状と目録が手渡されました。

また、表彰式後には、学生時代に所属していた研究室を訪れ、指導教員の佐藤利次准教授と思い出話に花を咲かせ、懐かしそうにされておりました。

鈴木選手、そして、ロコ・ソラーレ（LS 北見）の選手の皆様の今後の益々の御活躍を、心よりお祈りしております。



学生・教職員を前に挨拶する鈴木選手



高橋学長（左）と鈴木選手（右）

= 学位記授与式 =

平成 29 年度学位記授与式を挙行

(総 務 課)

3月16日（金）、平成29年度学位記授与式が午前9時30分から北見市民会館で行われました。

学部376人の卒業生、大学院工学研究科博士前期課程91人及び同博士後期課程4人の修了生及び論文博士2人に対し、高橋信夫学長から学位記が授与されました。

引き続き、学長告辞、辻直孝北見市長、永田正記後援会会長、鳥越廣美同窓会会長

及び富田剛夫学生後援会会長からの祝辞の後、バイオ環境化学科の竹内健人さんが、「北見工業大学で過ごした4年間は、私たちの誇りであり、これからの未来を切り拓いていく力になると思います。」と答辞を読み上げ、式は無事終了しました。

卒業生、修了生の人数は下表のとおりです。

学 部

学 科 名	卒業者数(人)
機械工学科	67
社会環境工学科	76
電気電子工学科	60
情報システム工学科	64
バイオ環境化学科	49
マテリアル工学科	60
合 計	376

大学院博士前期課程

専 攻 名	修了者数(人)
機械工学専攻	22
社会環境工学専攻	14
電気電子工学専攻	14
情報システム工学専攻	13
バイオ環境化学専攻	8
マテリアル工学専攻	20
合 計	91

大学院博士後期課程

専攻名	修了者数(人)
生産基盤工学専攻	2
医療工学専攻	2
合 計	4



学位記授与式の様子

= 告辞 =

平成 29 年度学位記授与式告辞

学部卒業、大学院修了の皆様、学位取得おめでとうございます。

皆様のこれまでの努力が実り、めでたく学位記を本日授与されましたことに敬意を表し、北見工業大学の教職員を代表いたしましてお祝いを申し上げます。

本日はご多用な折にもかかわらず、北見市長の辻様、大学後援会会長の永田様、同窓会会長の鳥越様、学生後援会会長の富田様にご臨席を賜り、学位記授与式を挙げていきますことに感謝申し上げます。

本年度は、学士の学位記を376人に、修士の学位記を91人に、そして博士の学位記を6人に授与いたしました。この中には16人の留学生が含まれます。皆様が学位記を授与されたことは、皆様ご自身の努力のたまものであることはもちろんのことですが、これまで皆様を温かく見守り続けてこられたご家族を始めとした、周りの方々の多大なるサポートのおかげでもあります。お世話になった方々への感謝の気持ちを大切にしていきたいと思っております。

また本日は、この場にご家族の皆様にも多数ご出席をいただいております。ご子息・ご令嬢の新たな門出を心からお慶びを申し上げます。

さて、このところ毎年のように様々な大きな自然災害が発生しています。この一年間でも昨年7月に発生しました九州北部豪雨があります。また本年1月には草津の本白根山が噴火し、大きな被害がありました。最近では、九州霧島の新燃岳の噴火が続いております。自然界ばかりでなく、人間社会におきましても北朝鮮によって繰り返される核実験や弾道ミサイルの発射等、やっ

かいな事が相次いでおります。そして、ITやIoT関係の目覚ましい発展もあり、社会情勢の動きは益々速く、そして激しくなってきています。

工学に携わる私どもにとりましても、この数年、厳しい指摘を受ける事項が相次いでおります。昨年も、これまで培ってきた信頼を揺るがす大きな問題が発生しております。日産自動車・スバルによる無資格者検査問題や、神戸製鋼所によるデータ改ざん問題、そして、今年1月に発覚した京都大学 iPS細胞研究所における研究データの改ざんやねつ造といった問題は記憶に新しい事かと思えます。これらは技術者・研究者のモラルに関係する重大な問題であり、あってはならないことです。我々におきましても技術者・研究者としての原点をしっかりと見つめる必要があると感じております。

このように技術者・研究者へ厳しい目が向けられる中、卒業あるいは修了される皆様の多くは工学技術者として社会へと飛び立つこととなります。しかし、例え社会の荒波に身を揉まれ、様々な困難に遭遇することになったとしても、皆様であれば、北見工業大学で学んだことを活かし、それらの困難を乗り越え、バイタリティに溢れた技術者として活躍してくれるものと私は信じております。

先日のピョンチャン冬季オリンピックではたくさんの感動的なシーンがありました。中でも、北見にとりましては女子カーリングの活躍は大きなものでした。その彼女たちの輝きは簡単に実現したものではなく、一日一日の地道な鍛錬の積み重ねがあったからこそ得られたものだと思っています。

工学に携わる私どもとしましては、私たちの基本は、研究等の取組対象に真摯に取り組み、地道な作業を継続し、一つずつ確実に結果を積み上げていくことです。このことを忘れずに、胸に抱かれている夢を大切にしてその実現を信じ、失敗を恐れずに前向きに様々なことに挑戦していただきたいと思います。

今日の学位記授与式は、私にとりましても40年にわたる大学教員としての卒業の式でもあります。ただし、私の場合は仕事を終えての卒業であり、店終いとなります。皆さんの場合は、これからの新しい一歩を始めるための卒業です。これからの皆さんの人生を大切にしてください。くれぐれも健康には十分に注意していただきたいと思

います。

今年のセンター試験において、本学が日本で一番寒い試験会場であったことが示すように、この冬は寒さが厳しい日々が多かった気がします。しかし、今日この頃は、日中の日射しも強く雪解けも進み、春の足音がすぐそばまで聞こえてきています。皆様の新たな旅立ちを祝福するのに相応しいこの季節を迎え、本日、このように盛大に学位記授与式を挙行了できましたことに改めまして感謝申し上げます。そして、卒業生・修了生の皆様のこれからのご健勝とご活躍を心から祈念いたしまして、学位記授与式にあたりましての告辞といたします。

皆様、本当におめでとうございます。

平成30年3月16日
北見工業大学長 高橋 信夫

= 入試 =

平成 30 年度大学院入学試験（第 2 回）を実施

（入 試 課）

平成 30 年度大学院工学研究科博士前期課程入学試験（第 2 回）を 2 月 6 日（火）（学力検査）、7 日（水）（面接試験）に実施しました。各専攻別の合格者数等は下表のとおりです。

また、平成 30 年度大学院工学研究科博士後期課程入学試験（第 2 回）を 2 月 6 日（火）（面接試験）に実施しました。各専攻別の合格者数等は下表のとおりです。

博士前期課程

募集区分 専 攻 名	一般入試		社会人特別入試		外国人留学生 特別入試		高等専門学校 専攻科生特別入試		学部3年次学生 対象入試	
	志願者	合格者	志願者	合格者	志願者	合格者	志願者	合格者	志願者	合格者
機械工学専攻	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0
社会環境工学専攻	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0
電気電子工学専攻	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0
情報システム工学専攻	2	2	0	0	1	1	0	0	0	0
バイオ環境化学専攻	3	3	0	0	1	1	0	0	0	0
マテリアル工学専攻	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	14	14	0	0	3	3	0	0	0	0

博士後期課程

募集区分 専 攻 名	一般入試		社会人入試		外国人留学生入試	
	志願者	合格者	志願者	合格者	志願者	合格者
生産基盤工学専攻	0	0	1	1	3	3
寒冷地・環境・ エネルギー工学専攻	0	0	2	2	0	0
医療工学専攻	1	1	1	1	0	0
合 計	1	1	4	4	3	3

平成 30 年度工学部一般入試を実施

(入 試 課)

平成 30 年度工学部一般入試について、1 月 22 日（月）から 1 月 31 日（水）までの願書受付期間内に前期日程 475 人、後期日程 1,476 人の出願がありました。

前期日程は 3 月 6 日（火）に合格者を発表し、後期日程は 3 月 12 日（月）に個別学力検査を行い、20 日（火）に合格者を発表しました。各学科の合格者数等は下表のとおりです。

前期日程

学 科 名	募集人員	志願者数	合格者数
地球環境工学科	76	272	152
地域未来デザイン工学科	88	203	152
合 計	164	475	304

後期日程

学 科 名	募集人員	志願者数	合格者数
地球環境工学科	66	674	107
地域未来デザイン工学科	77	802	112
合 計	143	1,476	219

平成29年度共同研究の受入状況

平成30年3月31日現在

(研究協力課)

所 属	職 名	研究代表者	研 究 題 目	民 間 機 関 等
地域未来デザイン工学科	助教	宮崎 健輔	水熱処理木材を用いたプラスチック複合材料に関する研究	株式会社北斗興業
地域未来デザイン工学科	教授	川村 彰	平成29年度 注意喚起溝工法に関する共同研究	株式会社高速道路総合技術研究所／ 鹿島道路株式会社
地球環境工学科	教授	阿部 良夫	寒冷地に適したエレクトロクロミック・スマートウィンドウに関する研究	北海道ガス株式会社 技術開発研究所
地域未来デザイン工学科	准教授	宮森 保紀	低温環境下における免震ゴム支承の力学特性	住友理工株式会社 免制振デバイス技術部／ 日本鑄造株式会社
地域未来デザイン工学科	助教	富山 和也	モバイルプロフィロメータを用いた冬期路面モニタリングに関する基礎的研究	株式会社中神土木設計事務所

平成29年度 累計99件

平成29年度受託研究の受入状況

平成30年3月31日現在

(研究協力課)

所 属	職 名	研究担当者	研究題目	委託機関	所要経費
地域未来デザイン工学科	准教授	新井 博文	脳機能改善作用を有する機能性食品開発	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構	円 600,000

平成29年度 累計13件

平成29年度奨学寄附金の受入状況

平成30年3月31日現在

(研究協力課)

所 属	職 名	研究者	寄附目的	寄附者	寄附金額
	学長	高橋 信夫	教育研究のため	株式会社アベックス北海道支社	円 183,888
地域未来デザイン工学科	教授	渡邊 康玄	工学研究のため	株式会社ドーコン	500,000
	学長	高橋 信夫	国立大学法人北見工業大学修学支援基金への寄附	北見工業大学生生活協同組合	500,000
	学長	高橋 信夫	教育研究の為	株式会社伊藤園	513,498
地域未来デザイン工学科	准教授	宮森 保紀	工学研究のため	株式会社ニューブリッジ	300,000
地球環境工学科	教授	阿部 良夫	(非公表)	(非公表)	600,000
地域未来デザイン工学科 地域未来デザイン工学科	准教授 助 教	井上 真澄 齊藤 剛彦	-30℃はく落防止の押抜き試験に関する研究助成のため	萩原工業株式会社 合成樹脂事業部	900,000
	学長	高橋 信夫	教育研究のため	北海道コカ・コーラボトリング株式会社	755,028
地域未来デザイン工学科	教授	渡邊 康玄	工学研究のため	株式会社北開水工コンサルタント	150,000
地球環境工学科	准教授	駒井 克昭	工学研究のため	株式会社北開水工コンサルタント	150,000
地域未来デザイン工学科	助教	吉川 泰弘	工学研究のため	株式会社北開水工コンサルタント	150,000
地域未来デザイン工学科 地域未来デザイン工学科	准教授 助 教	井上 真澄 齊藤 剛彦	-30℃はく落防止の押抜き試験に関する研究助成のため	萩原工業株式会社 合成樹脂事業部	900,000
情報処理センター	教授	升井 洋志	バスロケーションシステムの研究のため	網走バス株式会社	100,000
地球環境工学科	准教授	高井 和紀	躯体の掃気に関するシミュレーション解析等	ジェイベック株式会社	150,000
地球環境工学科	教授	柴田 浩行	研究調査助成のため	公益財団法人電気通信普及財団	1,000,000
地域未来デザイン工学科	准教授	小西 正朗	試験研究のため	株式会社環境ダイゼン	500,000
地域未来デザイン工学科	准教授	渡辺 美知子	機械工学の研究	株式会社トリニティ・ドゥ	1,000,000

平成29年度 累計88件

= 人事 =

人 事 異 動

(総 務 課)

○文部科学省発令

発令年月日	現 職 名	氏 名	新職名（発令事項）
30. 3. 31	国立大学法人北見工業大学長	高橋 信夫	任期満了退職
30. 4. 1	工学部教授	鈴木 聡一郎	国立大学法人北見工業大学長 （任期：平成34年3月31日まで）

○大学発令

発令年月日	現 職 名	氏 名	新職名（発令事項）
30. 3. 31	工学部教授	河野 正晴	定年退職
〃	工学部教授	谷本 洋	定年退職
〃	工学部准教授	伊藤 陽司	定年退職
〃	工学部准教授	宮越 勝美	定年退職
〃	工学部講師	三浦 克宜	辞職
〃	工学部助教	山崎 新太郎	任期満了退職
〃	入試課長	長縄 保則	定年退職
〃	学務課学生支援室長	藤田 美代子	定年退職
〃	学務課副課長	斉藤 順	定年退職
〃	研究協力課高度専門職（研究支援担当） （副課長兼務）	斉藤 由紀子	定年退職
〃	総務課事務職員	高橋 定志	定年退職
〃	技術部学部・大学院支援室長（高度専門職 （機器分析支援担当）兼務）	松田 弘喜	定年退職
〃	事務局次長	谷川 敦	辞職（文部科学省へ転出）
〃	財務課長	山口 文章	辞職（旭川医科大学へ転出）
〃	学務課長	菅原 暢廣	辞職（北海道大学へ転出）
〃	出向（室蘭工業大学学務課副課長）	山本 涉	辞職（函館工業高等専門学校へ転出）
〃	財務課副課長	二村 肇	辞職（沖縄科学技術大学院大学へ転出）
〃	総務課係長	大倉 卓也	辞職（室蘭工業大学へ転出）
30. 4. 1	副学長	柴野 純一	理事・副学長、地球環境工学科長、教育支援機構長、 学術情報機構長及び保健管理センター長 （任期：平成32年3月31日まで）
〃	副学長	川村 彰	理事・副学長、地域未来デザイン工学科長、研究推進 機構長及び社会連携推進機構長 （任期：平成32年3月31日まで）

発令年月日	現 職 名	氏 名	新職名（発令事項）
30.4.1	工学部教授	山田 貴延	副学長及び地球環境工学科副学科長 （任期：平成32年3月31日まで）
〃	工学部教授	渡邊 康玄	副学長及びプロジェクト研究推進センター長 （任期：平成32年3月31日まで）
〃	工学部教授	榮坂 俊雄	副学長、地域未来デザイン工学科副学科長及び 図書館長 （任期：平成32年3月31日まで）
〃	事務局長	三枝 広人	副学長 （任期：平成32年3月31日まで）
〃	工学部教授	許斐 ナタリー	学長補佐及び国際交流センター長 （任期：平成32年3月31日まで）
〃	工学部教授	鳴島 史之	学長補佐 （任期：平成32年3月31日まで）
〃	工学部教授	三波 篤郎	学長補佐 （任期：平成32年3月31日まで）
〃	工学部教授	山下 聡	学長補佐 （任期：平成32年3月31日まで）
〃	工学部教授	阿部 良夫	学長補佐及び共用設備センター長 （任期：平成32年3月31日まで）
〃	工学部教授	亀田 貴雄	地球環境工学科副学科長 （任期：平成32年3月31日まで）
〃	工学部教授	三浦 則明	地域未来デザイン工学科副学科長 （任期：平成32年3月31日まで）
〃	工学部教授	南 尚嗣	環境・エネルギー研究推進センター長 （任期：平成32年3月31日まで）
〃	工学部准教授	桒井 文人	冬季スポーツ科学研究推進センター長 （任期：平成32年3月31日まで）
〃	工学部教授	羽二生 博之	ものづくりセンター長及び機械工学専攻主任 （任期：平成32年3月31日まで）
〃	工学部教授	升井 洋志	情報処理センター長 （任期：平成32年3月31日まで）
〃	工学部教授	有田 敏彦	社会連携推進センター長及び知的財産センター長 （任期：平成32年3月31日まで）
〃	工学部教授	三上 修一	技術部長 （任期：平成32年3月31日まで）
〃	工学部教授	早川 博	社会環境工学専攻主任 （任期：平成32年3月31日まで）
〃	工学部教授	黒河 賢二	電気電子工学専攻主任 （任期：平成32年3月31日まで）
〃	工学部教授	山田 浩嗣	情報システム工学専攻主任 （任期：平成32年3月31日まで）
〃	国立大学法人北見工業大学理事	吉田 孝	バイオ環境化学専攻主任 （任期：平成32年3月31日まで）
〃	工学部教授	村田 美樹	マテリアル工学専攻主任 （任期：平成32年3月31日まで）
〃	工学部教授	伊関 敏之	各専攻共通主任 （任期：平成32年3月31日まで）
〃	工学部教授	平山 浩一	生産基盤工学専攻主任 （任期：平成32年3月31日まで）
〃	工学部教授	小原 伸哉	寒冷地・環境・エネルギー工学専攻主任 （任期：平成32年3月31日まで）
〃	工学部准教授	星野 洋平	医療工学専攻主任 （任期：平成32年3月31日まで）

発令年月日	現 職 名	氏 名	新職名（発令事項）
30.4.1	国立大学法人北見工業大学理事	吉田 孝	工学部教授
〃	国立大学法人北見工業大学理事	田村 淳二	工学部教授
〃	工学部准教授	新井 博文	工学部教授
〃	工学部准教授	小西 正朗	工学部教授
〃	工学部助教	富山 和也	工学部准教授
〃	工学部助教	ブタシンスキ, ミハ ウ エドムンド	工学部准教授
〃	工学部助教	古瀬 裕章	工学部准教授
〃	工学部助教	吉川 泰弘	工学部准教授
〃	（新規採用）	（まつだ かずのり） 松田 一徳	工学部准教授
〃	工学部特任助教	河野 義樹	工学部助教
〃	工学部特任助教	佐藤 一宏	工学部助教
〃	工学部特任助教	本間 雄二郎	工学部助教
〃	（新規採用）	（きだ まさと） 木田 真人	工学部助教
〃	宇都宮大学財務課長	（なかい だいすけ） 中居 大亮	学長企画室長
〃	総務課長	玉木 衛	総務課長（総務担当）
〃	学長企画室長	坂田 寿	総務課長（人事担当）
〃	総務課副課長	久田 貢	財務課長
〃	室蘭工業大学入試戦略課長	（みやけ やすひろ） 宮家 康浩	学務課長
〃	入試課副課長	齊藤 敏浩	入試課長（係長兼務）
〃	研究協力課副課長（係長兼務）	渡部 孝弘	学務課学生支援室長（係長兼務）
〃	研究協力課係長	松沼 拓夫	研究協力課副課長
〃	研究協力課係長	斉藤 靖子	研究協力課副課長（係長兼務）
〃	学務課係長	内山 彰	学務課副課長（係長兼務）
〃	学務課係長	川島 恵也	総務課係長
〃	情報図書課係長	山本 至	施設課係長
〃	入試課係長	反保 聡史	研究協力課係長
〃	学務課主任	後藤 将大	研究協力課係長
〃	情報図書課係長	栄浪 晋也	学務課係長
〃	学務課主任	森原 早紀	学務課係長
〃	学務課主任	反保 恵佳	学務課係長

発令年月日	現 職 名	氏 名	新職名（発令事項）
30.4.1	学務課係長	白鳥 和枝	情報図書課係長
〃	施設課係長	泉 真理恵	情報図書課係長
〃	研究協力課事務職員	根本 綾子	研究協力課主任
〃	財務課事務職員	秋元 宏太	学務課主任
〃	施設課事務職員	松家 奈津美	入試課主任
〃	出向（独立行政法人日本学術振興会研究事業部研究助成企画課係員）	笠川 勇将	総務課事務職員（出向からの復帰）
〃	財務課事務職員	牧野 華子	総務課事務職員（文部科学省行政実務研修生）
〃	文部科学省科学技術・学術政策局産業連携・地域支援課事務官	(なかやまちかこ) 中山 智香子	学務課事務職員
〃	総務課事務職員	山本 太一	学務課事務職員
〃	(新規採用)	(やまがみ まさゆき) 山上 雅之	総務課事務職員
〃	(新規採用)	(どうみ れいな) 道見 怜奈	財務課事務職員
〃	(新規採用)	(とまり しん) 泊 晋	施設課事務職員
〃	(新規採用)	(えんどう たまえ) 遠藤 珠江	学務課学生支援室事務職員
〃	(新規採用)	(ながつか やすひろ) 長塚 康大	入試課事務職員
〃	技術部学部・大学院支援室機器分析支援グループ長	山根 美佐雄	技術部学部・大学院支援室長
〃	技術部学部・大学院支援室機器分析支援グループ計測システム係長	橋本 晴美	技術部学部・大学院支援室機器分析支援グループ長
〃	技術部学部・大学院支援室機器分析支援グループ技術専門職員	白川 和哉	技術部学部・大学院支援室機器分析支援グループ計測システム係長

= 受賞 =

本学学生が平成 29 年度土木学会北海道支部 技術研究発表会優秀学生講演賞を受賞

(社会環境工学科)

このたび、本学学生の和田修輔さん(社会環境工学科 4 年、指導教員：井上真澄准教授)、鎌田啓市さん、白川雄太さん(博士前期課程 社会環境工学専攻 1 年、指導教員：宮森保紀准教授)が公益社団法人土木学会北海道支部にて優秀学生講演賞を受賞しました。

本研究発表会において、和田さんは「コ

ンクリート中に含有する亜硝酸イオン量の測定方法に関する基礎的研究」という題目で、鎌田さんは「河川増水時における橋台の洗堀が構造安定性に及ぼす基礎的検討」という題目で、白川さんは「横断歩道の動的応答量の実測値と FEM モデルによる動的解析の比較」という題目で発表しました。



和田さん



白川さん（左）、鎌田さん（右）

= 諸報 =

聴覚障がいのある学生支援に係る講演会を開催

(学務課学生支援室)

2月14日(水)、広島大学アクセシビリティセンター准教授の山本幹雄氏を講師に迎え、聴覚障がいのある学生支援に係る講演会を開催しました。

本講演会は、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」の施行に伴い、障害を理由とする差別に関する基本的な事項、責務、役割及び障害の特性を理解するとともに、障がい学生に適切に対応するため、教職員のFD・SD研修の一貫として実施しました。

今回は「聴覚障がい」に特化して企画し、90人余りの教職員が参加しました。講演では、「パソコンノートテイクによる支援と講義保障のための様々な方法」の紹介が

あり、「障がい学生が求める支援すべてを満たすのではなく、今できる支援からまず始める重要性」について、広島大学の事例を交えながら具体的かつ分かりやすく講演いただきました。

また、今回の講演会では、広島大学と本学をインターネットで繋ぎ、広島大学学生によるパソコンノートテイクの実演を同時に実施した結果、参加した教職員からは、支援の難しさと精度の高い支援内容に賞賛する姿が見受けられました。予定の時間を超過する程、講演後の質疑も多く寄せられ、教職員にとっては大変有意義な時間となりました。



講演する山本氏



真剣な眼差しの参加者

個人情報保護研修を実施

(総 務 課)

2月19日（月）、個人情報保護研修を実施し、教職員約50人が参加しました。

本研修は、個人情報の取扱いについて理解を深め、個人情報の保護に関する意識の高揚を図るために毎年開催しており、今年度は、教職員の資質向上を目的としたSD研修を兼ねた研修として開催しました。

講師として、株式会社インソースの長井慎二氏に個人情報保護、情報セキュリティ対策及び特定個人情報の適正な取扱い等について研修していただき、参加した教職員は熱心に聴き入りながら、個人情報保護に関する知識を深めていました。



講演する長井氏



研修の様子

パソコンノートテイクー育成講座を開催

(学務課学生支援室)

2月22日(木)～23日(金)、札幌学院大学で障がい学生支援を行っている学生、我毛 宏平さん、杉澤榛高さん、長谷部愛さん、先崎萌美さん及び職員の尾崎貴司さんの計5人を講師に迎え、パソコンノートテイクー育成講座を開催しました。

本講座は、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」の施行に伴い、将来的に聴覚に障がいのある学生が入学した際に、講義等の情報保障を行う必要があり、会話をリアルタイムで文字化するパソコンノートテイクーを育成することを目的に実施しました。

今回は学内外へ参加者を呼びかけ、本学部学生及び大学院学生6人が参加しました。

講演内容は、パソコンノートテイクーの説明から始まり、使用するソフトウェアやパソコンで文字入力を行う際のショートカットキーの有効性、機器不具合時の対応など実践向きの内容が多く、参加学生は真剣に受講するとともに、普段体験できない他大学の学生との交流を楽しんでいる様子でした。

講演の最後には、白川カウンセラーによる模擬講義を行い、パソコンノートテイクーの実践を行って終了となりました。

講師からは「呑み込みが早く、すぐに実践デビュー可能」と評価され、大学及び学生の両方ともに大変有意義な時間となりました。



長谷部氏による講座説明



実践練習中の参加者

平成 29 年度就職イベントを開催

(学務課学生支援室)

2月下旬から3月初旬にかけて、就職活動が解禁になるこの時期に、学内で3つの就職イベントを立て続けに開催しました。

2月21日(水)には、本学第二体育館において、「オホーツク企業合同セミナー」を、本学、オホーツク商工会議所協議会、北見市大卒者情報センター、そしてKITげんき会との共催により開催しました。本セミナーには北見市を含む近隣6市町の企業45社(団体)、本学学生及び道内の大学・専門学校等から約60人が参加し、企業担当者の話に熱心に耳を傾けていました。

また、2月22日(木)から28日(水)までの日曜日を除く6日間、本学講義室において「合同企業研究会」を開催しました。本研究会は、午前・午後の冒頭に実施される全体説明会で、各企業が自社をPRするプレゼンテーションを行った後、各講義室で3回の研究会を行う形式で、学生は1日最大6社の研究会を受講することができます。また、

お昼には情報交換会が開かれ、企業の担当者、就職担当教員、学生等が参加し、就職に関する様々な話が交わされました。6日間の参加企業数は計213社で、参加学生数は延べ3,027人となりました。

さらに、就職広報活動が解禁となる3月1日(木)には、同じく本学講義室で「官公庁合同説明会」を開催しました。道内の官公庁11団体が業務の概要や試験内容等について説明を行い、公務員の仕事に興味を持つ学生延べ90人が参加しました。

3つのイベントを立て続けに実施したため、参加学生には疲れの色も見られましたが、全国の企業担当者と積極的に交流する姿が見られ、「パンフレット等では理解できない内容まで学べた」との声もあり、学生の皆さんのご健闘を心から祈念しています。また、大学としても次年度に向けてさらに実施方法などを検討していく予定です。



オホーツク企業合同セミナーの様子



合同企業研究会の様子



合同企業研究会(情報交換会)の様子



官公庁合同説明会の様子

オホーツク型先進農業工農連携研究ユニット「地域交流会」を開催

(プロジェクト研究推進センター)

3月1日(木)、本学において、オホーツク型先進農業工農連携研究ユニット(略称「AURORA」)の地域交流会を開催しました。

AURORAは、本学の重点研究分野を推進するために平成28年度に設置した研究ユニットであり、本学が持つ高度な工業技術を基にオホーツク地域農業の課題解決に向けた様々な取り組みを行っています。

本交流会は、オホーツク地域関係者を対象にAURORAの活動を紹介し、より一層の工農連携にむけた地域交流を図ることを目的として開催したものです。

本交流会は2部構成となっており、第1部

では、ユニット代表者である星野洋平准教授からユニットの設立趣旨などの紹介の後、チームメンバー4人から専門研究分野について活動紹介がありました。

続く第2部では、フリートークでの情報交換が行われ、参加者はAURORAの研究活動や地域の農業に関する課題などについて熱心に意見を交わしていました。

AURORAでは、今後も様々な地域関係者と対話を進めながら地域農業の課題を取り上げ、課題解決に向けた研究に取り組むことで、オホーツク地域を盛り上げていきたいと考えております。



星野准教授の挨拶



第1部：ユニット活動紹介
熱心に話を聞く参加者



質疑応答をする参加者と星野准教授



第2部：フリートークの様子

学生表彰式を举行

(学 務 課)

3月6日(火)、平成29年度学生表彰式をコミュニケーションアトリウムにおいて行いました。

今年度、学長賞の該当者はありませんでしたが、ミント賞には研究活動等の分野で

9の方が表彰されました。

高橋信夫学長から被表彰者に対し、表彰状並びに記念品の贈呈が行われ、お祝いの言葉が述べられました。

ミント賞

氏名等	所属学科・専攻
入江 駿亮	社会環境工学専攻
佐々木 優太	社会環境工学専攻
石原 宙	社会環境工学専攻
川俣 さくら	社会環境工学専攻
田中 悠暉	社会環境工学専攻
Ainii Siti Khodijah	電気電子工学専攻
相澤 峻	電気電子工学専攻
MD. RIFAT HAZARI	寒冷地・環境・エネルギー工学専攻
ZHANG YOUQI	寒冷地・環境・エネルギー工学専攻



表彰式の様子



記念写真

北見工業大学と金融機関との連携強化に向けたシンポジウム

「オホーツク地域における金融機関と大学機関との連携の可能性」を開催

(社会連携推進機構)

3月8日(木)、本学において学金連携活動の強化・拡大による北海道地域の振興を目指し、オホーツク地域における学金連携について議論を深めることを目的とした北見工業大学と金融機関との連携強化に向けたシンポジウムを開催しました。

本シンポジウムには、共催機関である特定非営利活動法人産学連携学会学金連携システム研究会及び特定非営利活動法人産学連携学会北海道支部の関係者及び地域の金融機関関係者など、産学官連携活動従事者を含めた41人にご参加をいただきました。

第1部では「学金連携の取り組み事例」をテーマに、大学関係者から東京海洋大学産学・地域連携推進機構の川名優孝准教授、秋田大学産学連携推進機構の伊藤慎一准教授・統括URA及び金融機関からは北洋銀行地域産業支援部の吉岡孝則副部長にご講演をいただきました。

第2部のパネルディスカッションでは、「オホーツク地域における学金連携の姿について」をテーマに、第1部でご講演いた

いた講師3名がパネリストとして参加し、本学社会連携推進センターの内島典子准教授がコーディネータとして、「地域振興に向けてそれぞれの立場から学金連携がもたらすもの、学金連携により得られるもの」「現状を踏まえて学金連携を進めていくうえで危惧すること、意識しなければならないことは何か」等について討議しました。その結果、地域には首都圏とは異なり相手の顔が見えることのメリットが大きいこと。大学と金融機関がお互いに不得手なところを補いながら連携することにより、地域振興の実現が可能となっていくのではないか、ということ。またそのためには、金融機関と大学は相互に半歩近づく意識を持つことが大切である、との意見で一致しました。

このような『学』と『金』という立場でのイベントを開催できたことは、地域振興を進める上で大変貴重な機会であったと感じました。

今後もこの地域で連携できる可能性を探っていきたいと考えています。



川村機構長からの開会挨拶



パネルディスカッション

オホーツク医学大会・北見医工連賞授賞式

(社会連携推進センター)

3月10日(土)、北見医師会・北見医工連携研究会が主催する第11回オホーツク医学大会がホテル黒部を会場に開催されました。

北見医工連携研究会は、北見医師会と本学が中心となって立ち上げた研究会です。毎年開催される「オホーツク医学大会」に本学は後援機関として参画しています。

今年の大会では特別講演として、東京農業大学生物産業学部食品香粧学科の妙田貴生准教授から「コーヒーの美味しさを科学する」をテーマにご講演をいただきました。また、研究発表では、北見医師会、北見歯科医師会、北見獣医師会、日本赤十字北海道看護大学、そして本学からは14件の発表がありました。小林病院に所属する研究者からは多くの研究発表があり、活発な議論が行われました。

本学からは大学院博士前期課程1年情報システム工学専攻の水上京介さんが、「ヴァーチャル・リアリティに酔うということ：4点圧力センサーによるVR環境下での重心移

動の計測」の研究について発表を行いました。この研究は、情報システム工学科3年の江口直弥さん、地域未来デザイン工学科機械知能生体工学コースの早川吉彦准教授と取り組んでいるものです。

研究発表に続き、若手研究者の医療工学研究の発展を目的に設けられた北見医工連賞の授賞式が行われました。今年度は日本赤十字北海道看護大学災害対策教育センターの根本昌宏教授が受賞され、受賞研究である「特別治療食を考慮した画期的調理法の開発に関する研究」についてご講演をいただきました。

オホーツク医学大会では、これまで医療の分野に関する講演・発表が行われていますが、今後はさらに医療に係る幅広い分野に関する講演・発表が予定されています。

本学から、多くの研究発表の場として、また地域への情報発信の場としての活用が期待されます。



妙田准教授による特別講演



水上京介さんによる発表

成績優秀学生表彰式を挙行

(学 務 課)

3月16日（金）、平成29年度成績優秀学生表彰式を北見市民会館において行いました。これは、優秀な成績を収めた学生を、ともに学生生活を送った同級生や、その保護者の皆さんで祝福しようというもので、今年度から学位記授与式終了後に引き続き実施

することとしたものです。

高橋信夫学長から被表彰者に対し、表彰状並びに記念品の贈呈が行われ、お祝いの言葉と、これから歩む新しい生活への激励の言葉が述べられました。

氏名等	所属学科
小倉 幹矢	機械工学科
広木 駿介	社会環境工学科
豊田 泰生	電気電子工学科
横山 大吾	情報システム工学科
川崎 はるか	バイオ環境化学科
北林 拓弥	マテリアル工学科

氏名等	所属専攻
廣嶋 孝行	機械工学専攻
藺森 啓悟	社会環境工学専攻
相澤 峻	電気電子工学専攻
大谷 拓夢	情報システム工学専攻
藤森 鴻平	バイオ環境化学専攻
今 利真	マテリアル工学専攻



記念写真



表彰式の様子

図書館展示コーナーリニューアル

(情報図書課)

3月20日(火)、本学図書館において、新たに壁面書架を設置し、展示コーナーをリニューアルしました。以前は閲覧机を展示用に利用していたため、必要以上に場所をとってしまい、展示コーナーを閲覧している利用者がいると通行に支障が出ている状態でした。

今回導入した壁面書架は、奥行きが30cm、

高さは天井まで達しており、これまでより図書を見やすく美しく展示できます。また、デジタルサイネージを組み込んだ仕様となっており、展示の説明や行事の広報など、幅広く利用することができます。

平成30年度は、リニューアルした展示コーナーを活用した企画を考えておりますので、どうぞご期待ください。



新たに設置した壁面書架

平成 29 年度永年勤務者表彰式(退職時表彰)を挙

(総 務 課)

平成30年3月31日をもって35年以上在職し、退職された方々に対する永年勤務者表彰式を、3月30日(金)に学長室で行いました。

表彰式では、永年勤務し退職された6氏に、高橋信夫学長から表彰状の授与並びに記念品の贈呈が行われました。次いで高橋学長

から、被表彰者の方々の本学に対する永年にわたる精励と努力に対し、深い敬意と感謝の意が表せられました。また、吉田孝理事から高橋学長に記念品の贈呈が行われました。

なお、このたび表彰を受けられた方々は、以下のとおりです。

(50 音順)

氏 名	所 属 学 科 等
伊藤 陽司	工学部
斉藤 順	学務課
斉藤 由紀子	研究協力課
高橋 信夫	学長
藤田 美代子	学務課
松田 弘喜	技術部
宮越 勝美	工学部

ドイツ・アシャッフエンブルク応用科学大学と国際交流協定を締結

(研究協力課)

1月31日（水）、高橋信夫学長はじめ本学関係者一行7人が、ドイツのアシャッフエンブルク応用科学大学を訪問し、同大学との間で国際交流協定を締結しました。本学としては、ドイツの大学との初の国際交流協定締結となります。

両大学は大学の規模や研究分野等の共通点が多く、学生・教職員の交流や国際共同研究等の推進を目指して本協定を締結しま

した。

アシャッフエンブルク応用科学大学の Wilfried Diwischek 学長と高橋学長との間で協定書を取り交わした後、それぞれの大学の研究紹介や意見交換が行われ、今回の訪問が今後の交流に結びつく大変有意義なものとなりました。

なお、本協定締結により、本学の国際交流協定締結校は25校となりました。



高橋学長(左)と Wilfried Diwischek 学長 (右)



調印式後の記念写真

= 日誌 =

2 月

- 1日 アドミッションセンター運営会議
- 2日 就職ガイダンス
- 5日 研究推進機構統括会議、入学者選抜委員会、
オホーツク産学官融合センター事務局会議
- 6日 社会連携推進センター運営会議、大学院博士
前期課程入学試験（第2回）（～7日）、大学
院博士後期課程入学試験（第2回）
- 7日 教育研究評議会、発明審査委員会
- 8日 就職支援室会議
- 9日 入学者試験実施委員会、入学者選抜委員会
- 10日 第9回公開講座
- 13日 入学者選抜委員会
- 14日 教授会、研究科委員会、聴覚障がいのある学
生支援に係る講演会、私費外国人留学生入学
試験合格発表、大学院入学試験（第2回）合
格発表
- 15日 地域連携・国際交流委員会
- 19日 個人情報保護研修、学生委員会
- 20日 入学者選抜委員会
- 21日 平成29年度入学者へのコース配属・研究室配
属ガイダンス、教務委員会、オホーツク企業
合同セミナー
- 22日 研究推進機構統括会議、合同企業研究会（～
28日）
- 23日 入学者選抜委員会
- 27日 学術情報機構統括会議
- 28日 施設環境委員会

3 月

- 1日 オホーツク型先進農業工農連携研究ユニット
地域交流会、官公庁合同説明会、編入学入学
手続（～8日）、大学院入学手続（～8日）
- 2日 社会連携推進センター運営会議
- 5日 教務委員会、入学者選抜委員会、社会連携推
進センター運営会議、オホーツク産学官融合
センター事務局会議
- 6日 広報委員会、教授会、研究科委員会、学生表
彰式、一般入試（前期日程）合格発表
- 7日 一般入試（前期日程）入学手続（～15日）、
私費外国人留学入学手続（～15日）
- 8日 「北見工業大学と金融機関との連携強化に向
けたシンポジウム」
- 9日 学術情報委員会
- 10日 オホーツク医学大会
- 12日 一般入試（後期日程）個別学力検査
- 14日 教育研究評議会、地域連携・国際交流委員会、
社会連携推進機構統括会議、教務委員会
- 15日 経営協議会、学長選考会議、役員会、発明審
査委員会
- 16日 学位記授与式、成績優秀学生表彰式、入学者
選抜委員会
- 19日 教授会、オホーツク地域エネルギー環境教育
研究会、入学者選抜委員会
- 20日 奨学金返還免除候補者選考委員会、一般入試
（後期日程）合格発表
- 21日 一般入試（後期日程）入学手続（～27日）
- 29日 第10回公開講座（～30日）